

一般社団法人日本調理科学会 2024 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時：2024 年 6 月 9 日（水）11：00～11：52

場 所：オンライン開催

出席者：真部真里子会長，阿久澤さゆり筆頭副会長，高村仁知副会長，藤井恵子副会長，高山裕子，大野智子，柳沢幸江，飯田文子，杉山久仁子，時友裕紀子，名倉秀子，山になつみ，村上恵，安藤真美，久保加織，杉山寿美，高橋啓子，田原美和，長嶺清司，三神彩子，三宅裕子，宮藤章（以上理事 22 名）
新井映子，平尾和子（以上監事 2 名）

欠席者：平島円，篠原久枝（以上理事 2 名）

本日の理事会は，定款第 33 条理事の過半数の出席（理事 24 名中 出席 22 名，欠席 2 名）を満たし成立。

【配信資料】

資料 1：一般社団法人日本調理科学会 2024 年度第 2 回理事会議事録（案）

資料 2：（社）日本調理科学会 2024 年度 第 3 回理事会報告資料－編集委員会－

資料 3-1：【投稿規程修正案 1】修正項目のみ記載

資料 3-2：【投稿規程細則の修正案 1】修正項目のみ記載

資料 4：（社）日本調理科学会 2024 年度第 3 回理事会報告資料 情報管理委員会

資料 5：災害時のメニュー開発に関する研究委員会・運営委員会の活動報告

資料 6：特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会報告

資料 7：日本調理科学会誌の即時オープンアクセス化について

資料 8：2026 年度大会に向けての参考資料

回収資料：新入会員（2024 年 6 月 1 日～2024 年 8 月 31 日入会申込者）

1. 議長，議事録作成人，署名人選出

慣例に従い，議長は真部会長，議事録作成人は大野庶務担当理事，議事録署名人は定款第 34 条第 2 項により，真部会長，阿久澤筆頭副会長，新井監事，平尾監事とする。

2. 前回議事録（案）確認

2024 年度第 2 回理事会議事録（案）（資料 1）を確認の上，了承した。万が一修正等ある場合は事務局早川氏へ連絡する。

3. 議 事

【報告事項】

（1）業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

真部会長より規程 25 条に従って業務執行理事から業務執行状況を理事会へ報告する旨の説明があり，前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があった。阿久澤筆頭副会長より会長補佐および庶務・企画・広報担当として，高村副会長より会長補佐および情報管理・会計担当として，藤井副会長より会長補佐および編集担当として職務を執行してきたことが報告された。

（2）常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

資料 2 に基づき、藤井副会長より 2024 年度の論文審査状況（9 月 2 日現在）について昨年度の同時期とほぼ同様である旨報告があった。続いて資料 3-1、3-2 に基づき、投稿規程（ヒトを対象とした官能評価の倫理指針）、投稿規程細則（本文・引用文献の書き方）改正について報告がなされた。新投稿規程と新投稿規程細則は、学会誌 58 巻 1 号に掲載され、発刊以降の適用となる旨報告された。支部長から、支部会員への周知を依頼された。

2) 情報管理委員会

資料 4 に基づき、高村副会長よりホームページ管理(SSL サーバーの導入, HP リニューアル検討)、メール・ニュース発行（4 月 1 日以降 12 件）、転載許可の申請対応に関する報告があった。

(3) 特別委員会からの報告の件

香西委員長に代わり、真部会長より次のとおり報告があった。

1) 刊行委員会

本学会は、創立 40 周年記念事業の一環として、建帛社よりクッカリーサイエンスを刊行しているが、当初予定より刊行ペースがかなり遅いことが説明された。従来、刊行委員会からの執筆依頼に同意が得られた方々からの原稿を刊行につなげていたが、今後は刊行数の増加に向けて、研究成果を広く情報発信したいと考えている先生方にも執筆を依頼したいため、学会誌 6 号にて周知する旨報告された。支部会員へ情報共有を依頼された。

2) 記念出版委員会

昨年 3 月に終了した「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」の成果について、農文協が運営するルーラル電子図書館にて、各都道府県が選んだ 40 品目全ての公開作業が継続中で、2024 年 6 月までにリストにある取材した料理全てが公開され、未掲載の「買って食べる料理」ならびに「調理科学の目」「読み方案内」は、2024 年度大会開催までに公開予定であることが報告された（実際には未了）。大会では、農文協によるブース出展、ルーラル電子図書館のデモンストレーションも行われるので、是非御覧いただきたいとの案内があった。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 災害時のメニュー開発に関する研究委員会

資料 5 に基づき、阿久澤筆頭副会長より研究委員会の活動を円滑に行うための検討課題、学会講演会（6 月 2 日）後に実施された「災害時のメニュー開発に関する研究委員会会議」について報告があった。大会 1 日目（9 月 6 日）に開催予定の「災害時のメニュー開発に関する研究委員会 活動報告会－企画と内容案について－」は、支部長への参加依頼と支部会員の先生方への参加依頼があった。

2) 特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会

資料 6 に基づき、綾部委員長に代わり、名倉理事より 2022-2023 年度「多様な調理法と家庭料理の伝承」調査報告書の刊行（7 月）、2024 年度大会の発表状況〔調査 18 件、実験 20 件、計 38 件（うち若手奨励対象 2 件）〕、実験チーム報告書刊行に向けた協議内容、その他の確認事項（次年度以降の発表、論文掲載料の支援対象、オープンデータの取り扱い）について報告があった。

(5) 2024 年度大会実行委員会からの報告の件

藤井実行委員長より、大会当日、豪雨等の影響による交通遅延が生じた際、大船駅近辺に宿泊参加予定の理事に協力が要請された。会期中の熱中症対策や学術交流会会場への移動における道路渋滞への注意喚起がなされた。日本経済新聞社より大会 1 日目（演題 1B・2）に取材が入る予定であること、高校生のポスター発表があり、引率教諭は真部会長へ相談の上、参加費徴収なしでの大会参加を認めていること、若手研究者発表奨励賞のエントリーは 15 演題であることが報告された。現時点における大会参加申込者数は 476 人で 500 人を目指し、理事からの周辺の会員への参加の声かけが依頼された。

(6) 2025 年度大会の件

山中東海・北陸支部長より、大会開催に向けた進捗状況について以下の報告があった。会期は 2025 年 8 月 30 日（土）・31 日（日）の 2 日間とし、会場は東海学園大学、大会テーマ「調理技術・調理器具の温故知新」のもと、講演 2 題とシンポジウムを計画している。学術交流会の会場として名古屋観光ホテルを予約済である。6 月に、和泉実行委員長から報告があった内容から大きな変更はない。公開学術シンポジウム、学術講演会は大会テーマに沿って、東海・北陸支部の食を支える産業等の伝統を紹介できる企画を立案したいと考えている。本部に相談の上、今後も準備に取り組む予定である。

(7) 創立 60 周年記念事業「調理科学の百科事典」の件

綾部編集委員長に代わり真部会長より、各項目の著者に対し、11 月末日を締切りとして執筆依頼をしている現状について報告された。丸善との出版契約に伴う契約内容を確認中であり、今後理事会に諮った上で確定する旨説明された。

(8) その他

真部会長より、創立 50 周年の際、感謝状を贈呈した出版社でもある光生館の倒産について、報告された。創立 30 周年記念事業で出版した総合調理科学辞典の印税収入は近年得ていない状況だったが、学会として今後の対応について検討していく。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件

回収資料に基づき、阿久澤筆頭副会長より 2024 年 6 月 1 日から 8 月 31 日入会申込者（正会員 13 名、学生会員 15 名、団体会員 2 団体）について説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 若手研究者発表奨励賞の件

真部会長より、規定に従い、審査員について、阿久澤筆頭副会長、藤井編集委員長に加え、理事 3 名の提案があった。提案の 3 名は、恒例により、大会参加予定である安藤庶務担当理事、大野庶務担当理事、山中理事（次期開催支部）で、内諾が得られている旨説明があり、審議の結果、承認された。投票終了後は規定に従い、阿久澤筆頭副会長、藤井編集委員長ならびに時友編集副委員長が開票を行い、その後審査員で受賞者を決定、理事・監事へメール報告する旨説明があった。

(3) 学会誌のオープンアクセス化の件

資料 7 に基づき、真部会長より、2025 年度新規公募分から科研費等の競争的研究費による査読付き学術論文と根拠データを即時オープンアクセス化とすることが研究者に義務付けられた件について説明された。科研費等を得た研究者が進んで学会誌に投稿できるように、2026 年度までに学会誌の即時オープンアクセス化をめざすことが提案された。日本調理学会誌の電子版（J-STAGE）は紙媒体発行後 1 年間の認証期間（会員のみ公開）を経てから全てに向けて電子化している現状であり、オープンアクセス化の対象や CC ライセンスの決定、データ公開の関与、投稿規程改正などの課題についても説明され、審議の結果、承認された。

（4）2026 年度大会の件

資料 8 に基づき、真部会長より 2026 年度開催支部は、近畿支部であることの説明があった。村上近畿支部長より現在開催校について支部で検討している旨説明があり、審議の結果、承認された。

（5）その他

1) 学会への高校生の参画

2024 年度大会にて高校生 1 名のポスター発表申込があったため、学生会員として取り扱い、引率教諭の参加費は無料とした。引率に関する規定はなく、決定にあたり本来理事会に諮る案件ではあったが、安全管理上やむを得ない事象との会長判断により認めた旨説明された。その上で、日本家政学会ではジュニア会員を設置するなど他学会でも高校生の取り込みが行われていること、調理科学分野に興味を持つ人材の掘り起こしは必要不可欠と考えられることから、本学会でも高校生の学会への参画について検討を開始することについて提案され、審議の結果、承認された。

2) SNS 利用の検討

真部会長より現在会員向けにメール・ニュースで情報配信を行っているが、大会や支部の情報を一般に向けてリアルタイムで発信していく必要性について説明があった。炎上のリスクも想定されるが、安全かつ効果的な SNS 利用の検討開始について、審議の結果、承認された。

【その他】

（1）次回理事会の件

次回理事会は、2025 年 1 月 25 日（土）10：00～12：00 に開催の予定。

議事録署名人 会長 真部 真里子

筆頭副会長 阿久澤 さゆり

監事 新井 映子

監事 平尾 和子